

宮城県多賀城高等学校において SS 先端研究講話を行いました (2024/12/17)

テーマ：防災教育、探究学習、災害科学科、スーパーサイエンスハイスクール (SSH)、高大連携
会場：宮城県多賀城高等学校 第2講義室
URL：<https://tagajo-hs.myswan.ed.jp/>

2024年12月17日、当研究所が連携・協力協定を締結している宮城県多賀城高等学校において、災害科学科の1年生40名を対象とした「令和6年度SS先端研究講話」が開催され、佐藤健教授（防災教育実践学分野）、柴山明寛准教授（災害文化アーカイブ研究分野）、朴慧晶助教（災害医療国際協力学分野）、原裕太助教（2030国際防災アジェンダ推進オフィス）が講師を務めました。

本講話の目的は、研究者による講義、質疑を通じて、研究や地域課題の本質に触れ、次年度のSS災害科学研究のテーマ設定の一助にもらうことであり、多賀城高等学校の依頼により実現しました。

当日は開会式に続いて、上記各教員がそれぞれ4つのブースに分かれ、10名前後の生徒に対する45分間の講義・質疑応答を、休憩を挟んで2回行いました。どのブースでも、時間いっぱいまで生徒から多くの質問や相談が寄せられました。

テーマA：発災時に命を守る行動をとるフェーズにおける研究について

- ・A1 佐藤 健：緊急地震速報の利活用
- ・A2 原 裕太：災害と環境

テーマB：復旧・復興に向けて避難生活を送るフェーズにおける研究について

- ・B1 柴山明寛：災害とエネルギー
- ・B2 朴 慧晶：災害と医療—パンデミック災害におけるショッピングモールの避難所への利活用



講話の様子 (A1)



講話の様子 (A2)



講話の様子 (B1)



講話の様子 (B2)

文責：佐藤健（防災教育実践学分野）
柴山明寛（災害文化アーカイブ研究分野）
朴慧晶（災害医療国際協力学分野）
原裕太（2030国際防災アジェンダ推進オフィス）